

東北次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 2023 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナー
1. 担当分野
薬学研究科
2. 実施年月日
令和 6 年 2 月 3 日
3. 開催場所・開催方法
Zoom による Web 開催
4. 関連分野・領域
がん化学療法
5. 対象者
薬剤師
6. 参加者について
参加者合計人数 : 34 名 以下の内訳について教えてください 学内参加者数 1 : 学外参加者数 : 33 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学での参加大学数 : 1 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学 <u>以外</u> の参加大学数 : 1 なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください (医師、薬剤師、看護師、など)
7. 成果
2024 年 2 月 3 日 (土) に 2023 年度第 5 回山形県がん化学療法セミナーを Web 形式で開催した。 特別講演 I では公立置賜総合病院 副看護師長 竹田美和子先生、同薬剤部主任 安部一弥先生からそれぞれご講演頂いた。特別講演 II では国立病院機構仙台医療センター 外来化学療法主任 鈴木訓史先生よりご講演頂いた。 特別講演 I では、竹田美和子先生より「経口オピオイドの携帯に関する実態調査～化学療法センター通院患者を対象に～」と題し、自施設の化学療法センター通院患者と看護師を対象に実施したアンケート調査の結果についてご講演頂いた。経口オピオイド製剤のレスキュー薬について医療者と患者間における認識の違いや共通認識を持つための自施設で取り組みを紹介いただいた。安部一弥先生からは「当院の曝露対策と現状と課題」と題し、自施設における CSTD 導入までの経緯や CSTD 導入後の看護師を対象に行ったアンケート調査の結果についてご講演頂いた。 特別講演 II では、鈴木訓史先生より「職業性曝露対策の基本とメディカルサーベイランス

の実践」と題し、ハザードス・ドラッグ(HD)使用時の職業性曝露対策について現状や日本と海外の変遷、3学会(日本がん看護学会・日本臨床腫瘍学会・日本臨床腫瘍薬学会)が合同で作成したガイドラインについて解説頂いた。多施設共同研究として実施した環境モニタリング及び生物学的モニタリングの結果について説明頂くとともに自施設で行った環境汚染調査の結果についても報告頂いた。また、東北の医療施設間で行っている曝露対策に関する取り組みについて紹介頂いた。

2015年に職業性曝露対策ガイドラインが策定されて以降、CSTDの導入や環境モニタリングの実施など抗がん薬の取り扱いに対して医療従事者の関心の高さを再確認することができた有意義な研修会であった。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】